



## 第15回 コロンビア共和国

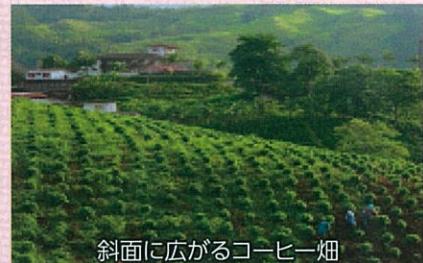


埼玉県にゆかりがあり、現在県内や海外で活躍している方に出身国や現在暮らしている国の紹介をしていただくシリーズ「世界の国からこんにちは」。今回は、東京2020大会の開催を来年に控え、埼玉県、加須市、草加市がホストタウン登録し、加須市・草加市・秩父市が事前キャンプ地に決定している「コロンビア共和国」について、さいたま市でスペイン語を教え、当協会の国際理解教育「世界へのトビラ」講師としても活躍している鈴木マルタエレーナさんに紹介していただきます。

鈴木マルタエレーナさん

コロンビアは南米大陸の赤道の少し上にある、自然豊かな美しい国です。しかし、残念ながら日本のような四季はありません。コロンビアの季節は標高によって決まります。私の住んでいたメデジンは標高1600mで夏の気温は一年中25~30℃で、日本の初夏の気候です(但し、夜は14~16℃まで下がります)。

私の実家はコーヒー農家です。コロンビアのコーヒーはアンデス山脈の麓の斜面に植えられ、1日の昼と夜の寒暖差が大きいことがコーヒーの甘味や香りに繋がると言われています。私が子供の頃はコーヒーの収穫シーズンには学校も休みになり、家の手伝いをしました。その当時の子供たちは今では捨ててしまうようなコーヒーの実をもらい、それをきれいにして売っていました。お小遣いをもらうのとは違い、苦労して得るお金の大切さや労働の尊さを学べたと今になって感じています。コロンビアのコーヒーは香りとコクのバランスが良く、また、酸味あまり強くないため、日本では「ブレンドコーヒー」のベースとして、多く使われています。今度、ブレンドコーヒーを飲む時はコーヒー豆の原産地を確認してみるのも面白いと思います。



斜面に広がるコーヒー畠

## 母の日のカーネーションはコロンビア産！？

また、コロンビアは世界屈指の切り花の産地です。1年同じ気候なので、年間通して花を生産できます。日本のカーネーションのうち約6割は輸入品で、そのうちの7割はコロンビア産です。メデジンでは毎年「花まつり」が開催され、花農家がアレンジした花(日本の花輪に似た形のもの)を背負いパレードします。300のお祭りがあると言われるコロンビアの中でも、圧巻のお祭りの一つです。



花まつりの様子

## 35年ぶりの新品種発見！

コロンビアはブラジル、インドネシアに次ぐ生物多様性に富んだ国です。生物の種類が多いことで有名で、鳥類の種類では世界一です。2013年にはアメリカ大陸では35年ぶりの発見となった食肉目の新品種が話題になりました。「オリンギト」というアライグマ科で目がくりっとした、とてもかわいい動物です。



「プラタノ」料理

## コロンビアの人気が好きなもの

1年同じ気候のおかげで、年間2~3回トウモロコシを収穫できることから、トウモロコシを主食とした食文化が根付いています。トウモロコシは粉にし、いろいろな料理に使われます。パンに似た「アレバ」は、毎日の食卓にのぼります。豆も種類がたくさんあり、色もカラフルで、トウモロコシと並び、豆料理も多く食べられています。果物も豊富で、私の暮らしていたメデジンでは、どの家庭にもミキサーがあり、1日に何度もジュースを作って飲んでいたので、ジュースは買うものではなく、家で作るものでした。また、「プラタノ」と呼ばれる甘くないバナナもよく食べます。プラタノを使ったメニューはたくさんあり、オーブンで焼いても、煮ても、スープにしても、油で揚げてもおいしい万能な野菜です。



カルタヘナ

## おススメ観光地と今のコロンビア

観光地としては、「カルタヘナ」が有名です。スペインの植民地時代に黒人労働者を使って作られた要塞が今も残り、その当時の石碑や建物を多数見ることができます。また、カリブ海に面し、リゾート地としても有名です。コロンビアには石油やエメラルドがあり、気候も良く、本当にすてきな国です。人種も多く、いろいろな人がいますが、皆とても明るく、優しい人が多い国です。しかし、まだまだ国内の格差からくる問題は残っています。今は次世代を担う子供たちの教育に力を入れていて、高校まで無料で学ぶことができ、大学で良い成績を取ると授業料が免除されます。このように、多くの子供たちにチャンスが広がっていると感じます。

## 国際フェア2019 を開催しました!

10月20日(日)、さいたまスーパーアリーナにおいて県内国際NGOの祭典「国際フェア2019」を開催しました。

このイベントは4団体の共催で行われましたが、今年の共通テーマは「SDGs」でした。会場内には「SDGs」のロゴと17の目標のアイコンで彩られ、とても華やかになりました。

## 「SDGs」キャンペーン

中学生ボランティア10名が、来場者にSDGsの説明をしました。その後「SDGs目標達成に向けてわたしができること」を考え、ホワイトボードに書いていただきました。約80名の参加があり、大変好評でした。「SDGs目標達成に向けてわたしができること」、皆さんもぜひ考えてみてください。

SDGsキャンペーンに参加してくださった皆様

## SDGsひろば～ワークショップ～

国際フェア内SDGsひろばでワークショップを開催しました。飛び入り参加で賑やかに踊りを体験したり、視覚障害を疑似体験したり、アフリカの楽器に触れたり、と各団体の活動を身近に感じる時間となりました。

多くの方々にご来場いただき、各ブースは大いに賑わいました。各国の料理や物販、ワークショップ体験など、ご来場いただいた皆さんにとって様々な国の文化に触れる良いきっかけになったのではないでしょうか。

5